

会 員 各 位

中 部 経 済 同 友 会

人財経営と地域力向上を考える委員会

委 員 長 杉 浦 正 樹

副委員長 佐 藤 昌 孝

副委員長 土 屋 諭

副委員長 中 北 馨 介

副委員長 山 田 直 人

副委員長 湯 次 善 磨

人財経営と地域力向上を考える委員会主催講演会のご案内

日頃は当委員会活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当委員会は、人口減少社会における新たな経営、組織の再構築のあり方を模索して、人間中心に考えられた持続可能な社会を構築するべく検討を進めております。

今回は、大正大学 招聘教授の海老原嗣生氏をお招きし、エンゲージメントの向上による企業の成長、ミドル・シニア層の活用による人財不足の緩和、海外企業との比較を通じた日本企業の課題把握といった観点から、今、日本企業に求められる変革や組織のあり方について方向性をお示しいただきます。大変有意義なお話が伺えるものと存じますので、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和7年11月4日（火） 16:00～17:30
※当委員会委員の皆様には講演終了後開催予定の
意見交換会（17:40～18:30）を別途ご案内しております。

2. 場 所 名古屋観光ホテル 2階 曙(東)の間 TEL: 052-231-7711

3. 講 師 大正大学 招聘教授
合同会社サッチモ 代表
株式会社ヒューマネージ 顧問 海老原嗣生 氏

（ご略歴） 1964年、東京生まれ。大手メーカーを経て、リクルート（旧リクルート人材センター）入社。新規事業の企画・推進、人事制度設計等に携わる。その後、リクルートワークス研究所にて雑誌W o r k s 編集長。2008年にHRコンサルティング会社ニッチモを立ち上げる。広島県雇用推進アドバイザー、奈良県行財政改革委員、厚生労働省労働政策審議委員、立命館大学経営学部客員教授、中央大学大学院MBAコース客員教授などを経て現職。「エンゼルバンク」（モーニング連載、テレビ朝日系でドラマ化）の主人公海老沢康生のモデルでもある。

著書に『「就職氷河期世代論」のウソ』（2025年・扶桑社新書）、『静かな退職という働き方』（2025年・PHP新書）、『少子化—女“性”たちの言葉なき主張』（2024年・扶桑社新書）、『マーケティングとクリエイティブをもう一度やり直す 大人のドリル』（2023年・プレジデント社）、『人事の組み立て ～脱日本型雇用のトリセツ～』（2021年・日経BP）、『仕事をしたつもり』（2011年・星海社新書）、『女子のキャリア』（2012年・ちくまプリマー新書）など多数。



4. 演 題 「人口減少時代の人財経営戦略 ～人の力を最大化する組織の再構築」（仮）

5. 会 費 無 料

6. 申込方法 会員専用ページから 10月28日（火） までにお申し込みください。
お申し込み後のキャンセルも変更登録をお願いいたします。

中部経済同友会
会員専用ページ



〔本件問い合わせ先〕 中部経済同友会事務局 担当：下村・藤原

TEL: 052-221-8901 E-mail: cace-seminar@cace.jp